



浜松市楽器博物館

Hamamatsu Museum of Musical Instruments

浜松市楽器博物館だより

No. 115

2016. 12. 26

本紙はホームページでも  
見ることができます。

## 楽器博物館小泉文夫音楽賞受賞記念特別展終わる 世界を聴いた男、民族音楽学者・小泉文夫からのメッセージ



展示スペースにて ミニコンサート「インドのヴィナー」

10月23日(日)から開催されていた特別展「世界を聴いた男、民族音楽学者・小泉文夫からのメッセージ」が11月27日(日)に終了しました。小泉文夫(1927～1983)は東京藝術大学音楽学部楽理科元教授で、日本における民族音楽学の開拓者であり第一人者でした。昭和40年代、西洋音楽一辺倒であった当時の日本の音楽界に、自国日本を含めた世界諸民族の音楽と、それを生み出した文化、人々の素晴らしさを、大学等での講義や演奏会、新聞や雑誌、テレビ、ラジオ、レコード等を通じて、学生や研究者、専門家だけでなく、一般の人々に対してわかりやすく紹介されました。その功績は世界的にも高く評価されています。今日につながるワールドミュージックやクロスオーバーの考え方はほとんどすべて、小泉氏がすでに提唱されています。

現代の第一線で活躍する日本人の音楽学者や民族音楽学者、演奏家の多くが小泉氏の薫陶を受けており、財団法人民主音楽協会主催の「シルクロード音楽の旅」などの演奏会、「題名のない音楽会」などのテレビ番組、NHK-FM「世界の民族音楽 - 小泉文夫の世界」などを通じて、世界の音楽に触れた人は数多いことでしょう。

これからのますますの活躍が期待されていたその時、小泉氏は56歳という若さで病魔に倒れ帰らぬ人となりました。

没後、氏の遺産を基に、夫人の三枝子氏により小泉文夫記念民族音楽基金が創設され、1990年から民族音楽学の分野でユニークな音楽研究または活動をした個人あるいは団体に、小泉文夫音楽賞が授与されることになりました。浜松市楽器博物館は2014年度に受賞の栄誉を得ましたが、この特別展はその記念として、没後33年になる小泉氏の功績を改めて世に紹介するために、東京藝術大学小泉文夫記念資料室との共催で開催したものです。

展示には記念室所蔵の自筆フィールドノート、夫人への私信、放送台本、編著書、監修レコード・CD、演奏会プログラム、楽器、私用したテープレコーダーなど実物資料約80点のほか、氏が書き残した言葉、写真、歴代受賞者のパネル約50点を展示しました。また一般財団法人民主音楽協会の特別協力により、小泉氏のフィールドワークや国内での演奏会を記録した映像も展示し、在りし日の小泉氏の姿に触れました。

展覧会を終え、鳴和彦楽器博物館館長はこう語ります。「会期中8,117人もの方が見学されましたが、没後33年にもなり小泉文夫の名前すら知らない人がほとんどでした。しかし、熱心に言葉を読んでいる若者がたくさんいらっしゃいました。小泉先生の偉大な遺産を、今後も何らかの形で紹介していきたいと思います。」

## 特別展 ミニコンサート 「インドのヴィーナー」「キルギスのコムズ」



日 時：平 28 年 11 月 13 日 (日) 11:00、14:00、15:30 (各 20 分)  
会 場：楽器博物館 天空ホール  
出 演：的場裕子 (ヴィーナー)、竹原幸一 (ムリダンガム、モールシン) 入場者：111 人



日 時：平 28 年 11 月 20 日 (日) 11:00、13:00、15:30 (各 20 分)  
会 場：楽器博物館 天空ホール  
出 演：ウメトバエワ・カリマン、池田千洋 入場者：134 人

特別展「世界を聴いた男、民族音楽学者・小泉文夫からのメッセージ」の関連イベントとしてミニコンサートを開催しました。

11 月 13 日 (日) は的場裕子さん (ヴィーナー)、と竹原幸一さん (ムリダンガム、モールシン) をお招きして南インドの音楽を紹介していただきました。的場さんは東京藝術大学 4 年生のときに小泉文夫氏に「インド音楽を勉強したい」と相談したところ「南へ行け」と言われ、それから南インドのヴィーナーを勉強するようになったと、小泉氏とのエピソードも語られました。ヴィーナーはスチール弦が全部で 7 本張られ、そのうち 4 本はメロディを奏で、そのほかの 3 本は拍子の締めで鳴らします。ムリダンガムは両面太鼓でヴィーナーのメロディに合わせて伴奏のように鳴らします。

11 月 20 日 (日) はウメトバエワ・カリマンさんと池田千洋さんをお招きしてキルギスのコムズを演奏していただきました。カリマンさんは中央アジアに位置するキルギス共和国の出身で東京藝術大学を卒業されています。コムズは「楽器」という意味で、キルギス人にとって一番大切にされている楽器だそうです。3 本の弦が張られ指で弦をはじいて演奏します。弦をはじくだけでなく、楽器の胴体を叩いたり、楽器を肩に担いで演奏したりと演奏だけでなく、アクロバティックな動作が特徴的です。素朴な音ですが、優しい音から力強い音まで幅広い表現を楽しむことができました。

## 特別展 記念講演会 『日本の音』を読み直す - 小泉文夫と日本音楽



日 時：平成 28 年 11 月 20 日 (日) 14:00 ~ 15:30  
会 場：アクトシティ浜松 研修交流センター 401 会議室  
出 演：植村幸生 (東京藝術大学教授・小泉文夫記念資料室室長)  
受講者：43 人

特別展「世界を聴いた男、民族音楽学者・小泉文夫からのメッセージ」を記念して、講演会『『日本の音』を読み直す - 小泉文夫と日本音楽』を開催しました。講師は、東京芸術大学教授・小泉文夫記念資料室室長の植村幸生先生です。小泉文夫氏の著書である「日本の音」をもとに、小泉文夫氏からのメッセージを読み解きました。

小泉文夫氏は民族音楽学者として知られていますが、終身テーマとして常に研究していたのは日本の音楽でした。講演の中で印象的だったのは、「音色と強弱の問題提起」でした。小泉氏は「日本人の場合にはわずかな強弱の変化でもそれには必ず音楽的表情をつけるため、日本の音楽を楽譜に書くときに西洋の強弱記号だけでは細かなところが表現できない。」と問題を提起し、新しい強弱記号を提案していました。この新しい強弱記号は、普及をさせたいというよりも、目で見分けるようにすることで多くの人に問題を知ってもらいたい、という小泉氏の働きかけだったそうです。また、小泉氏のフィールドノートには緻密なスケッチが描かれていて、そのスケッチは著書の裏表紙にも掲載されています。植村先生の学生時代に小泉氏の講義を受けた際にも黒板によくスケッチを描いて下さったというエピソードもお話して下さいました。

改めて小泉氏が日本の音に対して真摯に研究していたこと、また、ユニークな解釈からその人柄を知ることができる、大変充実した講演となりました。

## イヴニングサロンコンサート 「クリスマスジャズ I'll Be Home For Christmas」



日 時：平成 28 年 12 月 14 日 (水) 19:00 ~ 20:00  
会 場：楽器博物館 天空ホール  
出 演：鈴木麻美 (ヴォーカル)、藤森潤一 (ピアノ)、  
鈴木辰美 (ベース)、星合厚 (ドラムス)  
入場者：82 人

12 月 14 日 (水) に鈴木麻美さん (ヴォーカル)、藤森潤一さん (ピアノ)、鈴木辰美さん (ベース)、星合厚さん (ドラムス) をお招きし、イヴニングサロンコンサートを開催しました。

今回のコンサートでは当館所蔵のジラフピアノ (19 世紀 ニューヨーク) を使用しました。豪華な装飾が施された楽器ですが、音量は控えめで、特に高い音はまるで星が瞬くような煌びやかな音色がします。プログラムは楽器の特色を活かすために、しっとりした曲を中心に選んでいただきました。ジャズのスタンダード曲「スターダスト」「スマイル」、そしてクリスマスの定番曲「Santa Claus is Coming to Town」「The Christmas Song」などに続き今回のコンサートのタイトルにもなっている「I'll be Home for Christmas」が演奏されました。やさしい雰囲気に包まれ、温かな幸せを感じられるコンサートでした。

## イヴニングサロンコンサート 第 29 回国際古楽コンクール〈山梨〉2016 入賞者コンサート「Pure&Cristal-Guitar Duo-」



日 時：平成 28 年 12 月 17 日 (土) 18:30 ~ 19:45  
会 場：楽器博物館 天空ホール  
出 演：Duo HPD (井本響太・山田唯雄)  
入場者：31 人

平成 28 年 4 月 29 日から 5 月 1 日に山梨県甲府市で開催された国際古楽コンクール〈山梨〉において、アンサンブル部門第 3 位 (最高位) を受賞された Duo HPD の井本響太さんと山田唯雄さんのお 2 人をお招きし、イヴニングサロンコンサートを開催しました。

古楽コンクールの課題は中世から古典派までの音楽を作品が生まれた頃に使用されていた楽器を用いて演奏するというものです。コンクールでは 19 世紀のギターを使用されたそうですが、今回のコンサートでは 16 世紀から 20 世紀までの作品を演奏するために、モダンギターを使用していました。マウロ・ジュリアーニ作曲「協奏的ポロネーズ Op.137」などの古典派を感じさせる曲や、デュシャン・ボグダノビッチ作曲「幻想ソナタ」といったクラシック・ギター、ジャズ、エスニック等の要素を総括

## レクチャーコンサート No. 186 「パワフル口琴トリオ～熱狂のハンガリアン・トラディション～」



日 時：平成 28 年 11 月 26 日 (土) 18:30 ~ 20:30  
会 場：楽器博物館 天空ホール  
出 演：“ゾールド” シラーヂ・アーロン (口琴)、  
オルマーシ・クリスティアン (太鼓、パーカッション)、  
ドラバント・ベラ (ヴァイオリン、ツィテラ、ヴォーカル)  
入場者：54 人

今回が初来日となるハンガリーの口琴グループ「ゾールド」をお招きしました。演奏はシラーヂ・アーロンさん (口琴)、オルマーシ・クリスティアンさん (太鼓、パーカッション)、ドラバント・ベラさん (ヴァイオリン、ツィテラ、ヴォーカル) の 3 人です。

口琴は、世界中で使われ、国や地域によって素材や形が違います。ハンガリーの口琴『ドロンブ』は、金属製です。国内ではほとんど途絶えかけていて、伝統を伝えるのは元ハンガリー領のルーマニアに住む、マジャール系の人々でした。特にルーマニア東部のモルドヴァ地方には、「チャーングー人」という少数民族がおり、口琴の文化が残っているとのことです。プログラムは全て彼らの作品で、「窯」「ローレンス・レイヴ」「ベルトの踊り」などが演奏されました。ゾールドは伝統を守りつつも、現代的なアプローチで演奏活動を行っています。終盤にはゾールドの皆さんも客席に出て演奏したり、全員で歌ったりなど、客席と一体となって楽しみました。

# 音楽の広場 ミニコンサート「フルートアンサンブル」「クリスマスコンサート」



12月4日(日)は浜松フルートクラブの皆さんに演奏していただきました。この団体は昭和44年(1969年)に設立したアマチュアのフルート演奏団体です。ベルトミュール作曲「4つの小品」や、いずみたく作曲「見上げてごらん夜の星を」などに続き、最後は総勢20名での演奏で「365日の紙飛行機」が演奏されました。

そして12月25日(日)はクリスマスコンサートとして山崎恵子さん、石塚和美さん、山村妙子さん、沖佐知江さんに演奏していただきました。使用したピアノは作曲家である故・武満徹が所有していたエラーール(1928年、パリ)で、透明感のある音色と弦楽器の優しい音がよく合っていました。ショパン「ノクターン第2番変ホ長調」モーツァルト「ピアノ4重奏曲第2番変ホ長調」が演奏されました。

日 時：平成28年12月4日(日) 14:00、15:30(各30分)  
会 場：楽器博物館 天空ホール  
出 演：浜松フルートクラブ 入場者：61人

日 時：平成28年12月25日(日) 14:00、15:30(各30分)  
会 場：楽器博物館 天空ホール  
出 演：山崎恵子(ピアノ)、石塚和美(ヴァイオリン)、山村妙子(ヴィオラ)、沖佐知江(チェロ) 入場者：133人

## 博物館日誌

- 10/23(日)～11/27(日)  
特別展「世界を聴いた男、民族音楽学者・小泉文夫からのメッセージ」開催
- 11/3(木・祝)世界音楽の祭典ⅠN浜松2016民族音楽コンサート  
「ガムラン」17:30 ソラモ 出演：ランバンサリ、スミヤント、岡戸香里、川島未未 入場者：560人
- 11/4(金)世界音楽の祭典ⅠN浜松2016民族音楽コンサート  
〈楽器博物館企画〉「ブリアート共和国・バイカルの歌姫 ナムガル」  
19:00 アクトシティ浜松音楽工房ホール  
出演：ナムガル・ルハサラノワ、エフゲニー・ゾロタリョーフ、  
ティムール・ゾロタリョーフ、等々力政彦、堀越彰  
入場者：136人
- 11/6(日)展示室ガイドツアー 11:00、14:00(鍵盤楽器)  
参加者：51人
- 11/8(火)職場体験 浜松市立曳馬中学校 3人
- 11/13(日)特別展関連ミュージアムサロン「インドのヴィーナー」  
11:00、14:00、15:30 天空ホール 出演：的場裕子、竹原幸一  
入場者：111人
- 11/14(月)～11/18(金)移動楽器博物館 浜松市立初生小学校
- 11/20(日)特別展関連ミュージアムサロン「キルギスのコムズ」  
11:00、13:00、15:30 天空ホール  
出演：ウメトバエワ・カリマン、池田千洋 入場者：134人
- 11/20(日)特別展 記念講演会  
『日本の音』を読み直す―小泉文夫と日本音楽―  
14:00～15:30 アクトシティ浜松研修交流センター  
講師：植村幸生 参加者：43人
- 11/21(月)～22(火)職場体験 浜松市立中部中学校 3人
- 11/23(水・祝)楽器づくりワークショップ「とり笛をつくろう！」  
10:30、11:30 地下展示室 指導：ボランティア 参加者：19人
- 11/25(金)職場体験 浜松西高等学校中等部 5人
- 11/26(土)レクチャーコンサート「パワフル口琴トリオ」  
18:30 天空ホール 出演：ゾールド(シラーチ・アーロン、  
オルマーシ・クリスティアーン、ドラバント・ペーラ)  
入場者：54人
- 11/27(日)展示室ガイドツアー 11:00、14:00(鍵盤楽器)  
参加者：37人
- 11/27(日)特別展  
「世界を聴いた男、民族音楽学者・小泉文夫からのメッセージ」終了  
期間中入館者数：8,117人
- 11/29(火)～30(水)職場体験 浜松市立東陽中学校 5人
- 12/4(日)展示室ガイドツアー 11:00(アジア) 参加者：12人
- 12/4(日)シリーズ音楽の広場「フルートアンサンブル」  
14:00、15:30 天空ホール 出演：浜松フルートクラブ  
入場者：61人

- 12/11(日)楽器づくりワークショップ「とり笛をつくろう！」  
10:30、11:30 地下展示室 指導：ボランティア 参加者：6人
- 12/11(日)展示室ガイドツアー 11:00、14:00(鍵盤楽器)  
参加者：27人
- 12/14(水)イヴニングサロンコンサート  
「I'll Be Home For Christmas」  
19:00 天空ホール 出演：鈴木麻美、藤森潤一、鈴木辰美、星厚厚  
入場者：82人
- 12/17(土)イヴニングサロンコンサート  
「第29回国際古楽コンクール(山梨)2016入賞者コンサート」  
Pure&Cristal-Guitar Duo- 18:30 天空ホール  
出演：Duo HPD(井本響太、山田唯雄) 入場者：31人
- 12/18(日)展示室ガイドツアー 11:00、14:00(鍵盤楽器)  
参加者：20人
- 12/25(日)展示室ガイドツアー 11:00(鍵盤楽器) 参加者：18人
- 12/25(日)シリーズ音楽の広場「クリスマスコンサート」  
14:00、15:30 天空ホール  
出演：山崎恵子、石塚和美、山村妙子、沖佐知江 入場者：133人
- ♪ギャラリートーク  
(職員が毎日数回、展示品をひとつ選んで10分間ほど解説)  
11月 計回 参加者：680人

## これからの催し物

- 展示室ガイドツアー 毎日曜日 展示品の解説  
※催し物により変更もあります
- ギャラリートーク 毎日数回 展示品の解説を行います
- 講座  
1/16(月)、1/30(月)、2/13(月)、2/27(月)  
楽器の中の聖と俗「鳥と人間の音楽交流」19:00 楽器博物館展示室  
講師：西岡信雄 1/30 演奏：青木佳那  
2/27 演奏：中野振一郎、羽賀美歩、森本英希、村田佳生、吉岡秀和、  
中川敦史、野田祐子、池田源輝
- 楽器体験ワークショップ  
2/4(土)「ガムラン入門」18:30 楽器博物館展示室 講師：風間純子  
2/5(日)「クندان入門」13:30 アクトシティ浜松研究交流センター  
講師：風間純子  
3/2(木)「チャング入門」19:00 楽器博物館展示室  
講師：リ・チャンソブ  
3/3(金)「ケンガリ入門」19:00 楽器博物館展示室  
講師：リ・チャンソブ

## 浜松市楽器博物館だより

平成28年12月26日発行 No.115 編集 浜松市楽器博物館  
〒430-7790 浜松市中区中央3-9-1  
TEL 053-451-1128 FAX 053-451-1129 URL <http://www.gakkihaku.jp/>